

令和6年
3月15日号
広報
No.737

あきる野

今号の主な記事など

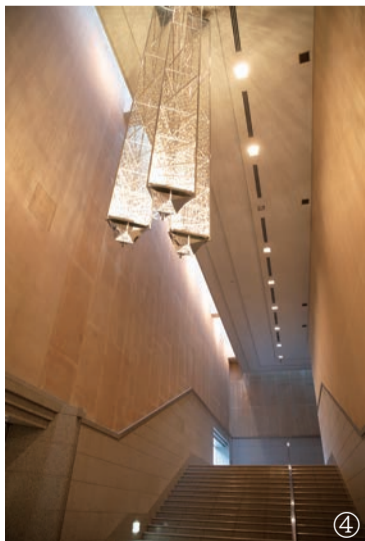
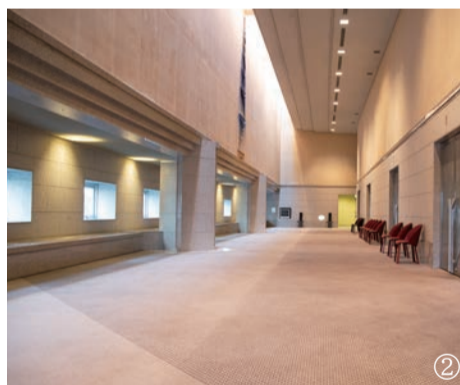
- 令和6年度教育方針…2・3面
- るのバスをEV（でんきバス）化します 試乗会の実施…3面
- 「広報あきる野」東京都広報コンクール1枚写真部門で入選…8面



秋川キララホールでは、平成元年4月1日の開館以来、多種多様な公演を行ってきました。市では、市民の皆さんが心豊かな日常を送り、いきいきと暮らすため、様々な音楽事業を推進しています。

これまでに開催された事業等

秋川キララホールでは、これまでに、0歳児から楽しめるクラシックコンサート、昭和の歌謡曲を味わえるコンサート、寄席や講談など老若男女が様々な文化に触れることができる場が生まれてきました。また、小・中学校等の合唱祭、音楽サークルや教室、幼稚園などの発表会の会場としても利用され、市民自らが表現者になれる場所でもあります。さらに、音の響きの良さから、アーティストのレコーディングなどにも利用されています。



- ①秋川キララホール外観
- ②ホワイエ
- ③入口付近（コロネード）
- ④ホワイエに繋がる階段とシャンデリア
- ⑤ホール内座席

施設の特徴

秋川キララホールは、クラシックコンサートに最適の残響効果が得られるよう設計されています。

ホール内は、ナチュラルでシックな色合いを基調に、花崗岩が使用された内壁、天然木の床が爽やかさと気品を、椅子は温もりと安らぎを感じさせる造りとなっています。

名称は、公募により命名されました。キララという音の響きの華やかさと、花崗岩に含まれる「雲母」の輝きをイメージしています。この名称には「小さいながらもキラリと光り輝くホールでありたい」という願いが込められています。

1990年度の建築業協会賞（BCS賞）を受賞し、建築物としても高い評価を得ています。



花崗岩が使用されたホール内壁面

3面では、秋川キララホール情報を掲載しています。

○問合せ 秋川キララホール (☎559-7500)
○担当課 生涯学習推進課生涯学習係

3面につづく

世帯と人口

— 令和6年3月1日現在 —

世帯 37,256世帯（前月比 40世帯増） 人口 79,478人（前月比 3人増） 男 39,581人 女 39,897人

広報あきる野は、毎月1日と15日に新聞折込と個別配布でお届けしています。市内に住所があり、折込対象の新聞を購読していない方は、市に個別配布をお申込みいただければ、無料でお届けします。また、市のホームページでもご覧になれます。詳しくは、市長公室にお問い合わせください。

再生紙を使用しています